

SECOND HOUSE

川口市立芝西中学校第52期生

第3学年通信 第6号

令和 5年 5月19日(金)

挨拶はなぜ大切なの？

5月2日の全校集会で、校長先生からこんなお話がありました。「挨拶でその人の印象が決まる。よい印象を与えることもあれば、意図していないのに悪い印象を与えてしまうこともある。」というお話でした。挨拶で、相手に与える自分の第一印象は決まってしまうようで、しかも、その印象は相手の記憶の中にずっと残ってしまうものです。残ってしまった記憶は、こちらが変えようと思っても変えられるものではありません。この先、生きていく中で、入学試験や就職試験の時の面接において、挨拶で自分の印象が決まり、それに判定がついてその先の進む道が決まってしまうということも残念ながらあります。挨拶一つで、得をすることも損をすることもあるのです。

道徳の時間において「言葉おしめ」という教材で、「一つの挨拶で、すがすがしい時間が流れることがある」と学びました。損得の話は序段ではしましたが、挨拶をすると、した方もされた方も気分は悪くありません。校長先生のお話の中には、「修学旅行や部活動の大会等で校外に出て活動することが多くなってくるこの機会、挨拶で自分や芝西中学校を紹介するチャンスである」ともありました。

心のこもった挨拶をしてみてよいことは多いですが、心のこもった挨拶をしたために損をしてしまったという話は聞いたことがありません。

52期生が芝西中学校の顔となって2か月が経とうとしている今、自分の挨拶を振り返り、気持ちのよい挨拶をみんなで交わしてみませんか？

挨拶は、たった1秒でできる自己紹介！
した方もされた方も、気分がよくなる挨拶を！



校長先生との面談、はじめました！

15日から校長先生と52期生の面談、通称「校長先生との親睦を深める会」が始まりました。校長室の前の椅子に腰掛けて緊張気味の表情で面談を待つ姿が見られました。校長先生お一人に対して生徒3人の面談です。校長先生は、生徒一人一人に目を合わせながら質問してくださっていました。答える側は、緊張した中でも、質問された内容に対して一生懸命考えて答えていました。校長先生は、今年度本校に赴任された先生で、皆さんのことを詳しくはご存じありません。校長先生と近くで話せるこの機会に、自分の言葉で自分のことをしっかりと伝えてみましょう。この体験が、将来の入試の際や就職時の面接等にも生かせることでしょう。

進路決定に向けて……

3学期に控えている進路決定に向けての準備も進んでいっています。入学試験を受ける際に必要となる「調査書」の元となる「2年間の記録」を提出してもらいました。提出期限が守れた人が多い中で、期限が守れなかった人もいました。この提出物だけでなく、各教科の提出物も期限が守れない人がまだいるのが現状です。締め切り日をメモし、どういう手順を踏んで期限までに間に合わせるかを考え、準備する力は、社会に出るために大変重要な力となります。いつも伝えていますが、中学校は期限が過ぎても「次は守るように」と指導した上で提出させ、提出物を受け取ります。中学校を卒業してからは、そうは行きません。期限を過ぎた時点で受け取ってもらえず、そのことで自分や自分の保護者が損をすることになります。社会は期限に厳しいです。もちろん、入試関係の書類も期限を過ぎて提出することは不可能です。1日過ぎたら、その学校の入学試験を受けることはできなくなります。入学試験が受けられなければ、その学校に受かることは絶対にありません。厳しいようですが、当たり前のことです。

進路決定に向け、今一度、提出物の期限を守るという当たり前のことを、しっかりと意識してみよう。

修学旅行のコース決め 始めました！

修学旅行の1・2日目で行う班行動のコース決めが本格的に始まりました。これまで調べてきた各名所のどこを優先して回るか、班ごとに話し合っていて決めています。班別行動で回る京都には、世界レベルで重要な歴史的建造物が残っています。町並み一つをとっても、日本の文化が感じられる場所です。気心の知れた仲間と一緒に訪れる場所を考えて行動を計画するのも、楽しいようです。これからは、移動時間も含めて細かく計画を立てていくこととなります。当日上手に観光地が回れるよう考えていきましょう。